

公益財団法人かすがい市民文化財団情報誌

フォーラムプレス

FORUM PRESS

87
8-9
2018

春日井の文化をつむぐ



なに
して
遊ぶ？

「人間はもっと自由に生きられる。音楽でそれを伝えられたら」

トロンボーンの魅力は、その曖昧なところ。正確な音程を取るのが難しいぶん、演奏者自身の持ち味を表現できる楽器なんです。



あの人と、春日井と

トロンボーン奏者
餌取雄一郎

YUICHIRO Etori

1987年、岐阜県郡上市生まれ。中学の部活動でトロンボーンを始める。大学入学後、学内のビッグバンドサークルに入部しジャズに触れる。以後、ジャズに傾倒しビッグバンドを中心に活動。在学時からトロンボーン奏法、音楽理論を谷口知巳氏に師事。卒業後、春日井市に住み、東海地方を中心に音楽活動を始める。現在はカルテットやビッグバンドを率いるなど自身のプロジェクトでも精力的に活動中。

第223回 昼コン
「歌で楽しむブラジリアン・ジャズの世界」
9/15(土) 14:00~
@文化フォーラム春日井・交流アトリウム

名古屋を拠点に活躍するジャズ・トロンボーン奏者・餌取雄一郎。リーダーを務めるビッグバンド『Nagoya Rehearsal Jazz Orchestra』での活動のほか、日々、数多くのライブをこなす。東京での成功を目指す人が多いジャズの世界だが、「自分を音楽家として育ててくれた名古屋で演奏したい」という思いがある。「地元のジャズシーンを盛り上げたいという人が、名古屋にはたくさんいるんです。彼らと共演する中で、僕も自然と同じ気持ちになりました」

ジャズとの出会いは高校時代。一流のミュージシャンが音楽を担当していたテレビアニメ『カウボーイ・ビバップ』だ。続けてきた吹奏楽では目立つことの少なかったトロンボーンが繰り広げる、縦横無尽なソロに衝撃を受けた。「トロンボーンにこんな可能性があるんだ、こんなに刺激的な音楽があったんだ」。そこからジャズにのめり込んだ。餌取が感じるジャズの魅力は、なにより自由なところ。「特徴的なのはアドリブ。リハーサルなしでいきなり合奏することもあるので、全くダメな日もあれば、予想を超えて面白くなる日もある。それが何より楽しいです」

アルバイトと音楽活動を両立していた駆け出しの頃、確かな居場所が見出せず不安だった彼を支えてくれたのもまた、音楽だった。「現実では窮屈なことが多いけれど、音楽の上でなら空を飛ぶこともできる。想像する全てのことを表現できるのが音楽だ、と師匠に教わり、救われた気持ちになりました」

9月の昼コンでは、『ブラジリアン・ジャズ』を演奏する。「南米の音楽はトロンボーンと相性がいいんです。爽やかな曲を季節と一緒に楽しんでもらえたら」
良い演奏を聴く人と共有できた時。それがミュージシャンとして最高の瞬間だ。

テキスト・写真＝鈴木史子

CONTENTS

- 01 あの人と、春日井と「トロンボーン奏者 餌取雄一郎」
- 02 につぼんの音楽のヒミツ。
- 04 小林昌廣の徹底解説！多趣味と長マクラと了見の名人・柳家小三治
- 06 アーティストが高校演劇部に行っちゃった！
- 08 このマンガを読め！vol.26「演劇」を描いたマンガ
- 09 わたしレポート「西本喜美子写真展」
- 10 提携ショップ「ホテルプラザ勝川」
- 11 校歌は地域をうたう vol.35 大手小学校 / 今月のお客様 vol.24
- 12 インフォメーション

写真家の眼

N°014

今では誰もが簡単に写真を撮れるけれど、写真家と言われる人の写真は、なんかちょっと違う気がする。彼／彼女らはどんなふうに見て、切り取るんだろうか。春日井にまつわるもの、という切り口で始めた表紙写真プロジェクトです。



今号の表紙 on the cover

PHOTO 松井沙織
SAORI MATSUI

初めて訪れた春日井には公園が沢山ありました。大通りの喧騒を離れ、懐かしい雲気味の遊具に惹かれて入ったのは四軒家公園。小さな山頂には、きのこが二つ。手前に見える円は、かつて存在した三つめのきのこを連想させます。入口に銀のすずめが並ぶのは長塚公園。工場に囲まれた小さな場所に、ここだけ森を凝縮したような、不思議と奥行きのある公園。しばし時間を忘れて眺めていました。

発行＝公益財団法人かすがい市民文化財団
486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5-44
文化フォーラム春日井 TEL.0568-85-6868
編集＝公益財団法人かすがい市民文化財団
制作＝211design-meme Art Director＝鷹巣由佳

にっぽんの音楽のヒミツ。

気鋭の演奏家たちが奏でる邦楽のヒットパレード、春日井に参上! 卍

「音楽の父 バッハ」「楽聖 ベートーヴェン」と聞けば、すぐに肖像画が頭に浮かんでも、「浄瑠璃の父」竹本義太夫「近代箏曲の祖 八橋検校」といった、日本の音楽家については知らない人が多いのではないのでしょうか。日本に住んでいるのに意外と知らない、にっぽんの音楽のこと。懐が深く温かいその音色に、今こそ耳を傾けてみませんか。

テキスト 小野木豊昭(伝統芸能プロデューサー)

にっぽんの音楽、 にっぽんの楽器って、どんなもの?

日本の音楽では、例えば演奏上「間」という言葉が度々使われますが、それは西洋の音楽のように記号化できません。ガラパゴス化なんて言われますけれど、島国日本は、いろんな文化を共存させ、同時に発展させてきた歴史があり、それが音楽にも顕著にあらわれます。

そして日本の楽器は、基本的には全て自然の素材からできています。例えば、三味線は一部を除いて、弦(糸)には絹糸が使われていますが、弾いているうちにどんどん伸びてしまうんですね。だから演奏者は、弾きながら常に調弦しています。そして、いつ糸が切れるのか、また、圧力だけで押さえている糸巻きがカラカラ回ってし

まわらないかなど、演奏しながら恐怖に駆られているんですよ(笑)。もちろん、プロはそれが無いように調整していますけれどね。

そういう特徴を持つ和楽器は、生き物といっても過言ではありません。そんな楽器が奏でる音楽であるが故に、西洋音楽のような厳密な音程の揃え方をしなくても何となく馴染んでしまうという、日本音楽ならではの面白さ、温かさがありません。

にっぽんの弾き物たち、 聴きどころはココ!

楽器は大きく分類すると、弦楽器(弾き物)、吹奏楽器(吹き物)、打楽器(打ち物)の三種類となります。今公演でスポットを当てるのは、お芝居、踊り、語りほか、数々の芸能を支え、彩ってきた日本の弦楽器Ⅱ弾き物です。ご紹介する四つの弾き物の音色は、どれも全く違います。是非、体感してみてください。

まずは箏。十二本の弦からなり、弦の下に立てた柱を動かすことで、音程を調節します。右手に三つの爪をつけ、左手で弦を押さえつつ演奏します。最近で

「差し障り」という言葉がありますよね、その「さわり」です。「ビーン」と鳴る独特の雑音(倍音)が生まれる仕掛けが施してあります。現代の西洋楽器にはこのような機構はないのではないのでしょうか?長い時間をかけてこのような機構を、日本人はワザワザ作ってきたのですから、面白いものですね。

最後に胡弓。中国の二胡とは全く異なる日本独自の楽器です。日本唯一の弓で弦を擦って音を奏でる擦弦楽器として、歌舞伎、文楽、三曲、民謡などで活躍します。胡弓は音を引き延ばせる楽器なので、メロディーを歌い込むことができます。洋楽的なアプローチを含めて、これからの可能性が期待できます。

最後に胡弓。中国の二胡とは全く異なる日本独自の楽器です。日本唯一の弓で弦を擦って音を奏でる擦弦楽器として、歌舞伎、文楽、三曲、民謡などで活躍します。胡弓は音を引き延ばせる楽器なので、メロディーを歌い込むことができます。洋楽的なアプローチを含めて、これからの可能性が期待できます。

にっぽんの音楽、 その錚々たる担い手たち

伝統芸能には、地域の方々が担い手の郷土芸能と、プロの表現者により主に劇場で演じられる伝統芸能があります。この両者を受けとめることができます。地域一

「自分の好きな音色」を見つけて

今回のコンサートで「じょんがら節」を披露する馬場淳史さんにコンサートへの意気込みをお聞きました。「実は、複数の和楽器が一箱の舞台に立つ機会というのはほとんどないので、とても楽しみです。津軽三味線の特徴である、激しく叩きつける奏法から生まれる音色を楽しんでもらえたらと思います。トークでは、初めての人でも「そやなんだ!」と和楽器に興味をわくお話をしますので、ぜひお気軽にご来場ください!」



津軽三味線奏者・春日井広報大使
馬場淳史

とに言葉が異なるように、地域の顔ともいえる郷土芸能が必ず存在します。愛知県は、いうまでもなく、全国に誇るべき芸能の宝庫です。そして今回は、高度な演奏技術と表現力を持ち、今の時代としてしっかりとリンクし、全国各地で活躍する演奏家たちが勢揃いで登場します。

そしてそれをナビゲートして下さるのが、南野陽子さんと葛西聖司さんです。春日井では毎年恒例となっている葛西さんの歌舞伎セミナー。今、これだけ楽しく分かり易く、伝統芸能を伝えられる方は他にいらつしやいませ。そしてNHK・Eテレ

「にっぽんの芸能」で五年間にわたって進行役を務め、数々の伝統芸能を紹介されてきた南野陽子さん。この二人の最強タッグが日本の楽器、日本の音楽の楽しさ、面白さ、カッコよさを導き出してくださいます。



昔も今も、私たちの人生を彩る にっぽんの音楽

日常で伝統音楽を聴く機会は大変少なくなっています。明治の世になり、日本人の価値観が大きく変わったことが大きな要因でしょう。政治、社会、生活の全てが欧米化し、唄い続けてきた「うた」や、奏で続けてきた楽器が日常から急速に消えていきました。そんな中で、自らの足元にあるすばらしい伝統文化に再度触れることで、その価値を見直すことができるかもしれません。

楽器は、古来から私たちの生活の傍らに寄り添ってきました。人間は衣食住を継続させるために働きます。一日が終わったら飲み食いする。そして「明日も頑張ろう」、そんな気持ちを持ち立ててくれるのが歌や踊りで、それを彩るのが楽器なのです。日本の楽器は、今を生きる私たちの人生を素敵に彩ってくれることでしょう。



スタッフ=小松淳子
南野陽子さんが、愛知県ならではの着物「名古屋友禅」と「有松絞り」をご紹介します。コーナーもあります。秋の気配を感じる季節、着物でお越しになるのも素敵ですね。

南野陽子&葛西聖司
伝統芸能の魅力発見!
~にっぽんの楽器・弾き物編~
9/29(土) 15:00~ @春日井市民会館

詳細情報は、裏表紙で Ticket Guide

小林昌廣の徹底解説!

多趣味と長マクラと了見の名人・柳家小三治

落語のおもしろさを伝える 落語国からの使者

2014年、落語家として3人目の人間国宝となった柳家小三治師匠。卓越した話芸を持つ当代きっての名人が、春日井市民会館にやってきました。今回は、小三治師匠の人となりや芸の魅力、伝統芸能に詳しい小林昌廣先生にたっぷり紹介してもらいました。落語ファンならずとも、高座に足を運びたいこと間違いなし!



©山田雅子

小三治落語に関する「個三事」

落語という話芸が「おもしろい」のは当たり前のことかもしれませんが、柳家さんの高座はおもしろいのですが、そのなかでも「すごくおもしろい」柳家小三治師匠でしょう。観客にとくにサービスをしてくれるだけでなく、淡々と話される。それなのに、話芸というコトバはこの人のためにあるんじゃないかと思わせるくらい、強い印象を与えてくれる柳家です。そのおもしろさの秘密を、今回は小三治ならぬ「個三事(小三治師匠について考える三つのおもしろい事)」にまとめて考えてみましょう。

まずは趣味の多さ。小三治師匠、とにかく多趣味です。オートバイやスキー、それに草野球などのアウトドア、それに俳句やクラシック音楽やオーディオなどのインドア、比較的最近では唱歌やオーブフォイルや塩にまで関心をもたれていて、そのどれもが、玄人はだしのウソチクに裏付けられているのです。わずかな時間の高座であっても相当集中力を必要とする芸能であるため、息抜き(?)であつてもひどく専門的になってしまうものなかもしれません。

柳家小三治は、話す国宝であり、笑わせる国宝であり、生きた国宝なのです。

落語も名人、マクラも名人

次にマクラの長さ。小三治師匠の落語ファンの方であれば、あなたもご存知のことです。本編よりもマクラの方が長い、なんてこともしばしばです。しかも時として本編よりもおもしろい(失礼!!)ことも。実際、その内容は本にもなっています。マクラを楽しみに高座に足を運ばれるファンも少なくありません。落語のマクラは、普通はその日の天候やできごとに触れたり、ちょっとした小噺をいくつかするものですが、小三治師匠のマクラはすべてが師匠の周囲に起きた事件ばかりで、そのどれもが痛快なのです。マクラが落語のための導入であるとするならば、小三治師匠本人が登場するマクラは、もうひとつの落語であり、そして鮮やかな導入なのであります。

最後は小三治師匠の落語そのものです。師匠の師匠である五代目柳家小三治のそのまた師匠の四代目小三治という人は、リアルに高座を勤めることで知られていました。噺に長屋が登壇する場合も、間口がどれくらい、二階に声をかけるときにはどれくらい、の大きさで話せばいいか

など、実際に凶面を書きながら弟子に教えていたそうです。そんな柳家の流れを汲む小三治師匠です。噺に登場する人物の描写が圧倒的に魅力的なのです。まるで客席の隣りにでも座っているような、そんなリアリティがあるので、落語の世界では「了見」といいます。単に登場人物を描くのではなく、その心情までも明確に表現する究極の落語術のこと。小三治師匠は、落語国の住人たちの了見になるのがたいへんに上手なのです。

落語初心者の強い味方、さすが人間国宝

小三治師匠は落語の「初心者」がお好きだと言われます。初心者こそ、落語のおもしろさを感じとり、どっぷりとはまってしまう潜在力をもっているのですから。重要無形文化財・人間国宝の柳家小三治は、拝まれるような国宝ではなく、話す国宝であり、笑わせる国宝であり、生きた国宝なのです。そして、寄席や独演会に足を運べば、その姿を声を容易に堪能できる国宝なのであります。

教える! 小林先生

「小三治」の秘密 十人の小三治

落語史の中で、小三治を名乗った噺家は十人。初代、後の三代目小三治は夏目漱石も絶賛した名人です。二代目は後に談洲楼燕枝になった、やはり名人。三代目は後に三代目古今亭今輔を襲名した音曲噺の名手。四代目は三代目小三治の娘婿となりますが、晩年は師の番頭役として活躍しました。五代目は後の四代目小三治、この人も名人です。六代目は将来を期待されましたが若くして亡くなりました。七代目は後の七代目林家正蔵、初代三平の父君ですね。八代目は噺家から落語協会事務局長へと転身した変り種。そして九代目は先代小三治。これらの歴代小三治について、当代の「小三治にも五重(寄席の事務方)にもなる名前」というギャグも知られています。



テキスト= 小林昌廣
1959年東京生まれ。情報科学芸術大学院大学(IAMAS)教授。芸術と哲学と医学を三つの頂点とする三角形の中心に「身体」をすえて、独自の身体論を展開している。



スタッフ= 藤江真子

落語通の玄人さんだけではなく、「これが落語会デビュー」という小・中・高校生にもオススメです! 一流の話芸にハマること請け合いですよ!

柳家小三治 独演会

10/13(土) 14:00~@春日井市民会館

詳細情報は、裏表紙で Ticket Guide

アーティストが高校演劇部に行っちゃった!

動いて、想像して、伝え合った3日間



演出家・俳優
有門 正太郎さん
「3日間で、アーティストとして伝えられることは全部ぶつけた」と臨みました。正直、高校生たちのキラキラしたまなざしと可能性に嫉妬しました。自分が演劇を始めた頃の感情が蘇りました」

俳優 岡本理沙さん
「みんなで同じ目標に向かうパワーです！部活の熱気を久しぶりに感じました」

市民と「一緒に「自分史」をテーマにした演劇をつくらせたり、小学生と一緒に「新しい遊び」を發明したり。地域の中に飛び込み、演劇という手法で数々のワークショップを行ってきた演出家・俳優の有門正太郎さん。そんな有門さんが今回訪れたのは、春日井高校の演劇部です。全国高等学校演劇大会に向けて日々努力する高校生たちに、3日間、とっておきのレッスンを行いました。同行したのは、名古屋の劇団で活躍する俳優の岡本理沙さん。アーティストならではの視点で、演劇のおもしろさを伝えます。

可能性を想像する
総勢30名の演劇部。有門さんと岡本さんが教室に入ると、部員が大きな声で挨拶してくれます。初日は、身体を動かすゲーム「椅子取り鬼」からスタート。鬼を座らせない、という目的のため、みんなで作戦会議をすると「全員で立つ」「鬼を囲む」など思いがけない意見が次々と出てきます。「演劇も同じ。ひとつの台本には、たくさんの可能性が隠れているから、想像力を働かせて！」と有門さん。みんな一緒に童心に帰って必死になるのも、普段の練習では味わえない感覚です。



ゲームの数々は、体力や瞬発力、コミュニケーションなど、演劇に必要な土台作りにつながります。これはタッチされた人がゾンビになってしまう「ゾンビ鬼」。

短い台本でも、リアリティを感じさせるためには、とことん想像する必要があります。演じる高校生たちに「2人はどういう関係?」「それはなぜ?」と有門さんから質問が飛びます。



「車と運転手」のゲームは、相手による感覚の違いを実感するため、人を変えて繰り返し行いました。

相手を(王様)だと思って演じる

信頼関係を築くため、2人組で行ったゲームは、「車」役が目を閉じて歩き、「運転手」役が背後から「車」役の肩を叩いて進行方向を伝えるというもの。2人の信頼度に比例して、歩くスピードが上がります。こうした、言葉ではなく身体で会話する練習を通して、互いの存在を意識する感覚を身につけます。有門さんが繰り返したの「相手は(王様)だよ」という言葉。共演者に対して、王様(王様)とても大切な人)に接するように常に心を向けることが、みんなで作り上げる演劇には欠かせないと言います。「台詞はあくまでも記号。重要なのは、台詞に乗っている相手の気持ち。心をしっかりと受け止めること。それから、また次の人に受け渡すことをイメージして」と有門さんは伝えました。

大切なのはそこにいること

短い台本を、3人組に分かれて演じる場面もありました。SF、サスペンス、コメディと解釈は様々です。1組の芝居に有門さんが演出をつけました。何かすごいものを見つけたいという意欲が、生徒が実際に好きな「ポケモンのゲーム」に変えてみたり、教室に駆け込むシーンでは、廊下で腰上げをして勢いをつけたり。リアリティを追求した演出で芝居の熱量が上がっていくと、部員から自然に笑いが起こります。有門さんは「演劇で大切なのはちゃんとそこにいる。という説得力。非現実的な設定になるほど難易度は上がる。まずは基本的な芝居をしっかり身につけよう」とアドバイス。最後に、「演劇にはこうしなきゃいけない」という決まりはない。演じることを楽しんで」とエールを送りました。



部長 野口克彦さん(2年)
「演劇の可能性を強く感じました。僕たちはまだまだ伸びしろがたくさん。夏の大会に向けて頑張ります」



副部長 福岡由花さん(2年)
「ゲームを使った実践形式の授業だったので、体験して、自分で納得しながらできて嬉しかったです」



元気いっぱいな演劇部のみなさん。これからも、部活に青春をかける高校生たちを応援していきます。



スタッフ=鈴木史子

技術ではなく、一番大切なハートの部分をアーティスト自ら高校生たちに伝えることができた今回のワークショップ。演劇部の今後の作品が楽しみです!

あなたも演劇やってみませんか?

演劇×自分史 カスガイ創造プロジェクト2018

演劇って何だかおもしろそう...と思ったあなた!有門さんや初めて出会う人たちと一緒に芝居を作りませんか?中学生以上なら、13歳も100歳も大歓迎!
2019/2/10(日)の公演に向けて全16回のワークショップを実施します。
【応募締切】10/3(水)必着
※詳しくはHPをご覧ください。

第2回ワンコインコンサート
Trio Primavera
(トリオ プリマヴェーラ)

@文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

Report.297
6.1
FRI



[今回の担当レポーター]
川島寿美枝

たったワンコインで極上の音楽が楽しめるなんて。お気軽かつ中身の濃いコンサートがあるので。フルートの林里紗さん、ピアノの蒔田裕也さん、オーボエの小笠原歌歩さんの『Trio Primavera』の3人が醸し出すハーモニーは、耳に心地よく、若さを魅力に音を紡ぎ出していきます。1時間半のコンサートがあつという間に過ぎていきました。蒔田さんはピアニストであり、優れたアレンジャーで、3人の魅力を最大限に引き出す編曲は、素晴らしいの一言です。後半で演奏された『サウンド・オブ・ミュージック・メドレー』や『ニュー・シネマ・パラダイス・メドレー』は馴染みのある曲ですが、素敵な編曲で新鮮に感じました。曲目の合間に3人がそれぞれ語る楽器や曲の紹介は、語り口が初々しく、興味をそそる内容でした。私達のエールが若手音楽家の支援につながると聞いて、今回のワンコインコンサートも是非楽しみたいと思いました。

フォーラムプレス
レポーターによる
「わたしレポート」

MY REPORT

他のレポートもHP
で紹介中! → 財団
スタッフDIARY



市民ボランティアが
かすがい市民文化財団の
アフレコを紹介!

おばあちゃん、なんぼしょと!?
西本喜美子写真展
「みんなで遊ば、楽しかよ!」

@文化フォーラム春日井・ギャラリー

Report.295
5.30-6.10
WED-SUN



[今回の担当レポーター]
宮川あけみ

会場に来場者と交流する喜美子さん

熊本のおばあちゃんは72歳で初めてカメラを手にし、今までとは違う世界の扉を開けました。今年で90歳、話題になった写真107点とともに春日井に登場です。西本喜美子さんの写真は、常識という枠を超えて、見る人を不思議な「喜美子ワールド」に誘う魅力に溢れていました。自ら被写体となって洗濯物として干されたり、宙に浮いたり、車にひかれたりと、日常が非日常になる一コマが映し出される写真には、ドキドキ感があります。来場した家族が、干された姿の写真を見て笑っていました。また、会場には自撮りコーナーもあり、ザルを手にポーズをつくる人達も。思わず一緒に遊びたくなる……これが「喜美子ワールド」の面白さかもしれません。誰もしないことを、自分が楽しいからするという姿勢は、何歳だろうが関係ない。人生これからというエールになっている気がします。とことん好きになれるものを見つけた人生の先輩に出会えた写真展でした。

※お知らせ※詳しくはHPをご覧ください。
●喜美子さんの先生であり、ご長男の西本和民さんによる1日写真講座 9/17(月祝)開催
●市民による写真展「あの時決まった写真展」12/14(金)~24(月祝)開催

第69回
かすがい日曜シネマ
KASUGAI 69 CINEMA

「ゆらり」

9/16(日)
①10:15~ ②13:45~ ③16:45~
@文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

2017年 / 日本映画 / 112分

詳細情報は、裏表紙で Ticket Guide



© 2017 映画「ゆらり」製作委員会

時を越える、家族への思い
西条みつとし率いる劇団の大人気舞台を映画化した本作。映画制作にあたって、再度、脚本が書き直されたそうです。
舞台となるのは、石川県の海沿いにひっそりと佇む民宿「赤木箱」。女主人・凜香と、娘のゆかりを中心に、複数の親子をめぐる物語が現在・未来・過去のオムニバス形式で描かれます。現在の場面では、忙しい凜香に構ってもらうために狂言誘拐を計画するゆかりが、〈未来〉では、神様を信じる息子を優しく見守る母として登場します。そして〈過去〉で描かれるのは、若き日の凜香とその母の物語。親は子に惜しみない愛を注ぐもの、子は若さゆえに応えられない……。少しもかしい親子の関係は、どれも涙無くしては見られません。そして、ある不思議なアイテムの登場で、物語は思いもよらない展開に。
登場人物の幸せを祈る気持ちで見守りたくなる、ハートフルな作品。見た後は、家族との距離がちよと縮まるかもしれません。

テキストスタッフ 牧原由佳

COMIC × CINEMA
vol.26

「演劇」を描いたマンガ



読むと演劇が見たくなる・したくなるマンガをご紹介します。



高校演劇部の皆さんが参考になることがたくさん描かれています。部員の皆さん、是非一読を。

演劇部5分前
©百名哲 / KADOKAWA [全3巻]



今日子がいきなり街路樹に登ってセミを演じるシーンに衝撃…! この漫画、タダモノでは無い! と度肝を抜かれました。

ブタイゼミ
©みかわ絵子 / 講談社 [全2巻]

カラッポの僕が見つけたもの
生きている実感を得るための、何かを日々探している千石今日太。街頭でのティッシュ配りのバイト中、彼に声を掛けられたのは、如月今日子という女優でした。彼女の「ゼミ」の演技に衝撃を受け、千石は劇団「ブタイゼミ」の門を叩きます。
父親に感情を出すことを否定されて育った千石にとって、表情を出す、という事は困難でしたが、今日子との即興演劇によって感情が引きずり出され、演ずる才能を開花させます。演劇に必死で取り組む若者たちの情熱と汗が、熱気となってページから漂ってくるような、熱い作品。全力で何かに取り組む人は美しく眩しい、そう思わせてくれる快作です。

高校演劇部の青春

部員が3人しかいない演劇部。廃部の危機を乗り越えるために、中部大会に出るという目標を立てるのですが……。ドタバタコメディから、徐々に演劇の核心を描いてゆき、悔れませんが、愛知県を舞台にしていますが、「玉野」「19号」「中央線」「神領駅」……と春日井を彷彿とさせるキーワードが続々と出てきます。作者の方、春日井出身では!?

1 どこで情報誌FORUM PRESSを入手されましたか?

P.1
 P.2-3
 P.4-5
 P.6-7
 P.8
 P.9
 P.10
 P.11
 P.12-13

3 あなたがこれから挑戦してみたいことは何ですか?(理由も)

2 今回のFORUM PRESSで、面白いと思ったページに☑を付けてください

- P.1 あの人と、春日井とトロンボーン奏者 餌取雄一郎
- P.2-3 にっぽんの音楽のヒミツ。小林昌廣の徹底解説!
- P.4-5 多趣味と長マクラと了見の名人・柳家小三治
- P.6-7 アーティストが高校演劇部に行っちゃった!
- P.8 このマンガを読め! vol.26 「演劇」を描いたマンガ
- P.9 わたしレポート「西本喜美子写真展」
- P.10 「第2回ワンコインコンサート」 Trio Primavera
- P.11 提携ショップ「ホテルプラザ勝川」
- P.12 校歌は地域をうたう vol.35 大手小学校
- P.13 今月のお客様 vol.24
- P.14 インフォメーション

4 今後、FORUM PRESSで取り上げてほしい内容や、ご意見・ご要望をお聞かせください

🎁 ご希望のプレゼントに1つ☑を付けてください
8/31(金)必着

- ①「伝統芸能の魅力発見!」ペアチケット
- ②かすがい日曜シネマ「ゆらり」ペアチケット
- ③コロナワールド映画鑑賞ペアチケット

FORUM PRESS 87号
読者アンケート

いつもFORUM PRESSをご愛読いただき、ありがとうございます。今後もより読み応えのある誌面づくりをしていくため、参考にさせていただきます。アンケートへのご協力をお願いいたします。

回答者プレゼント
抽選で次の1-3のいずれかをプレゼント!

- 1 「伝統芸能の魅力発見!」ペアチケット
2名様
9/29(土) 15:00~
- 2 かすがい日曜シネマ「ゆらり」ペアチケット
2名様
9/16(日) 16:45~
- 3 コロナワールド映画鑑賞ペアチケット
2名様

回答者プレゼントの応募締切は、
8/31(金)必着

たくさんのご応募、お待ちしております。
※当選は発送をもって代えさせていただきます
※当選者への発送は9月上旬の予定です

地域密着型ホテル ならではの「おもてなし」

文化フォーラム春日井と同じ1999年オープン！
JR勝川駅のランドマークとして愛されるホテルの魅力に迫ります。

モーニング大好き！
気分を盛り上げ
たいときにも◎
スタッフ＝神田裕美



■常にきれいな客室。安心して気持ちよく泊まることが出来ます。■ケーキショップ「パティスリー・ル・シエル」のプリンはPIPI会員にも大人気。■鉄板で焼いたアツアツのステーキが食べ放題のディナーは大人3,000円～(7/1～8/31)

PiPi提携ショップ
ホテルプラザ勝川
●春日井市松新町1-5
●0568-36-2311
●theplaza.co.jp
PiPi会員カード提示で、飲食代金の5%引き

「常に清潔な客室でお客様をお迎えし、安心して気持ちよく宿泊いただくことがモットーです」と仰るのは、ホテルプラザ勝川・企画管理部の勝山さん。勝川駅北口すぐ、名古屋まで電車で17分とアクセス抜群のホテルは、ビジネス利用のお客様が多く宿泊されています。「土日は家族連れも多いんですよ。ホテル内のレストランやケーキショップの利用でポイントが貯まる「プラザメンバーズ会員」のほとんどが春日井市民。私の街のホテルと愛着を持って、ご利用いただいています」

そんな勝山さんのおススメは、宿泊しなくても利用できるレストラン「ソレイユ」のモーニング。焼きたてパンを始め、こだわりの和洋食を好きなだけ楽しめる1300円のバイキングと、手軽な600円のプチモーニングセットは、どちらも大人気です。「ソレイユ」は午前7時～午後9時半まで営業しているので、季節ごとにも変わるランチやディナーも楽しめます。7～8月限定の「ステーキ食べ放題ディナー」は毎年恒例の人気企画。ちよつと豪華なランチを自分へのご褒美に、家族が集まる機会や大切な人との楽しいディナーに、ホテルプラザ勝川を利用してみたいかがたてよう。



一朱色の校旗はとみじ葉よ
その名大手と由緒あり
この地は広く豊かなり
夜明け朝明け鳥の声
心とからだをこたえよと
願いとこめた大手小学校

作詞 鈴木義
作曲 昆野敬

二みどりの風は早苗田よ
五つの池を埋め立てし
遠い祖先がしのばれる
いふき新築の家が建ち
知恵と技をみかけよと
いのりとこめた大手小学校

三とよあふいかつらひ
笛吹きなすからかせし
しのつく西のものならず
六年の業をつみかさね
平和の国をうちたてん
理想に萌え大手小学校



池にまつわる秘密

開校当時の校長先生が作詞した大手小学校の校歌。2番には、かつて学校周辺にあった5つの池が歌われています。「いま学校が立っている場所に芦池、周りを囲むように本池・清明池・仲池・長池があったんですよ」とは、現・校長の吉田克巳先生。池が集まる低い土地だけに、浸水被害を受けやすかった大手小校区。平成25年に、雨水を貯める大きな「雨水調整池」が校庭の地下に作られました。現在、調整池の上には広々とした芝生の広場ができ、子どもたちが元気に走り回ることのできる遊び場になっています。



お話を聞かせてくださった吉田校長。学校の名物・珪化木の化石の前で。

歌うことが大好き！

みんなで歌うことを大切にしている同校。全校で合唱曲などを歌う「歌声集会」が定期的に開かれます。指揮をするのは「音楽委員会」の子どもたち。ステージに立って、「大きく」「やさしく」とフリップを出したり、指揮や身体表現で歌をリードします。吉田校長いわく「頑張って練習しているからとても上手。歌がぐっと良くなるんです」とのこと。中学校でも指揮者に挑戦するなど、卒業後も合唱に積極的に取り組んでいる大手小っ子たち。校内にはいつも明るい歌声が響いています。



今月のお客様

文化フォーラム春日井や春日井市民会館には、いろんな土地から、いろんなお客様がいらっやいます。

vol.24



東京都より／日生劇場のみなさん

8/25(土)に開催の「アラジンと魔法のランプ」を制作している日生劇場のみなさんが、会場下見のため市民会館を訪れました。「ゴージャスですてきな会館ですね。実際に舞台を見ると、ワクワクしてきました。春日井は初めて訪れる土地ですが、歓迎されている感じがします！」



岡山市より／岡山シンフォニーホールのみなさん

岡山シンフォニーホールのみなさんが、視察に訪れました。「春日井はとても先進的な取り組みをしていますね。前向きな気持ちが課題を解決していくのだと、肌で感じました」「何事も、出会いとご縁。春日井と岡山のご縁が、今後も繋がっていけば嬉しいです」

編集ノート

忘れもしません。ある朗読公演に出演した「笛方」。脇役なのに、ものすごく面白い。思わぬ出会いをもたらすのも、生のステージの醍醐味です。(山川) / アーティストさん、学校の先生、お店の方...お話を聞かせてくれた人たちの思いを、読者のみなさまの所までこぼさず届ける。そんな誌面を目指して頑張ります!(鈴木) / 演劇ワークショップの撮影のため、数年ぶりに母校へ。昔と変わらぬ風景と、演劇に本気で打ち込む学生の姿に、胸が熱くなりました!(大西) / 公園入口の銀のすずめ。遠くから見ると本物のすずめが3羽いるように見えます! 二子山公園入口には「りす」がいます。(神田)

(受取人)
愛知県春日井市鳥居松町5-44 文化フォーラム春日井
公益財団法人かすが市民文化財団
FORUM PRESS 編集部行



フリガナ	お名前	歳
〒□□□-□□□□	ご住所	都道府県 市郡
お電話	会員番号 P	DM送付希望 <input type="checkbox"/>

※マンション・アパート名まで必ずご記入ください。
※友の会PIPIに入会されている方は会員番号もお書きください ※ご記入いただいた個人情報は、当財団が、当財団主催事業のために使用し、それ以外に使用、または第三者に提供することはありません。

料金受取人私郵便
春日井局 認
8022
差出有効期限
平成31年3月
31日まで

郵便はがき
4868790
366



人気テレビ番組でおなじみの、
林家たい平師匠が
春日井市民会館に登場します。
魅力たっぷりの熱い高座に
ご期待ください!

**特撰落語会
林家たい平独演会**

10/8(月・祝) 13:30~ @春日井市民会館
[料金]前売券¥3,200、PiPi会員¥3,000
全席指定、未就学児入場不可、当日券同額
※完売の場合、当日券の販売はありません。
[チケット取扱い]文化フォーラム春日井2
階・文化情報プラザ/チケットぴあ(Pコード
487-356) ☎0570-02-9999 / イープラス
http://eplus.jp / ローソンチケット(Lコード
42545) ☎0570-084-004 / エイフル企画
☎0120-241-052 www.eifuru.com
※PiPi会員割引は、文化フォーラム春日井
2階・文化情報プラザ窓口で購入した場合のみ。
[主催・問合せ]
エイフル企画 ☎0120-241-052



**無料 アトリウム音楽祭
(秋)**

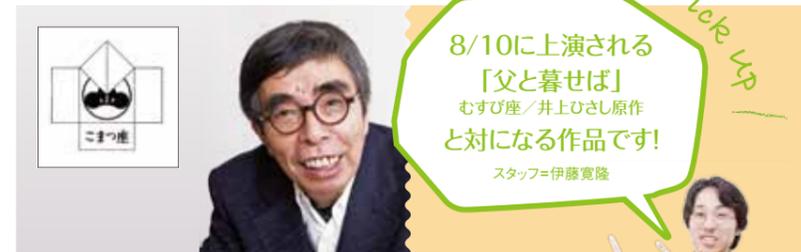
合唱、邦楽、オカリナなど、多彩な音楽サー
クルが日ごろの練習の成果を披露します。
@文化フォーラム春日井・交流アトリウム

出演日	時間	団体名
9/8 (土)	10:00	琴古流尺八長月会
	11:00	唱歌の会
	12:00	オカリナ・スプリング・ウェル
	13:00	鶯伸吟詠会 東尾張支部
	14:00	Puanani Aloha
	15:00	和楽器アンサンブル「みずほ」
9/9 (日)	16:00	ムジカアコーディオンアンサンブル
	10:00	混声ふるさと
	11:00	M a la carte
	12:00	あけぼの合唱団
	13:00	フルール
	14:00	かすがいウィメンズプラス
	15:00	春日井市能楽連盟
	16:00	右高ファミリーとおともだち
	17:00	八吹



**無料 夕涼みシネマ
「KUBO 二本の弦の秘密」**

夕暮れ時、夜風に吹かれながら楽しむ野
外アニメーション上映会。今年は、アカデ
ミー賞2部門にノミネートされるなど、全世
界で高い評価を受けた「KUBO」を上映し
ます。ストップモーションの手法を用いた迫
力満点の映像は鳥肌もの。親子の愛を描
いた物語は、大人の心にも深い感動を残
します。
移動販売で「3BLOCKS POPCORN」
も登場。ぜひ、家族やお友達と一緒にお
楽しみください。
8/18(土) 19:00~20:45頃
@文化フォーラム春日井前・屋外広場
※雨天の場合は文化フォーラム春日井・交流アトリウムにて上映



こまつ座「母と暮せば」

●監修:山田洋次 ●脚本:畑澤聖悟 ●演出:栗山民也

2015年に春日井で「國語元年」を上演し
たこまつ座が、再びやってきます! 名匠・
山田洋次監督が製作し、大ヒットを記録し
た映画「母と暮せば」を初めて舞台化する
のが本作です。長崎で被爆した母と、亡き
息子の幽霊との交流をつづったファンタ
ジー作品が、富田靖子と松下洸平の2人
芝居として生まれ変わります。映画の流れ
を汲みつつ、こまつ座が「戦後“命”の三
部作」第三弾として位置付ける「母と暮せ
ば」。母と息子、そしてすべての“命”をつな
ぐ、深く温かい物語をお楽しみください。
12/1(土) 14:00~
@春日井市東部市民センター



**施設の
魅力
再発見!**
使い方
いろいろ★
会議室



文化フォーラム春日井の2階にある「会議
室」のカーペットを張り替えました!最大84
名収容できる会議室は、A,Bの2部屋に
分割できるので、様々な用途に対応が可
能。工作などを行うワークショップの会場と
して、また、視聴覚ホールでコンサートなど
を行う際の託児室としても利用されていま
す。プロジェクターやマイクなど、設備も充
実しているので、文化・芸術に関わる講演
会の会場になることも。
利用ご希望の方は、お気軽にお問い合わせ
ください!

自分史の小部屋 旬の情報をご紹介します! Vol.6
第16回掌編自分史作品募集
「旅」にまつわる思い出を募集します

毎年異なるテーマに沿って全国から短い自分史を募集し、
優秀作品を一冊の本として発行する「掌編自分史全国公募」。
原稿用紙5枚~8枚という文字数のため、エッセイ感覚で
気軽に自分史を書くことができます。
今年のテーマは「旅に遊び 旅に学ぶ」。修学旅行や新婚
旅行、友人との旅などの思い出を書いてみませんか?人生
そのものを「旅」と捉えることもできますね。
[出品料] 無料
[応募方法] 応募用紙と原稿用紙を、メールまたは郵送
※詳しくはHPをご覧ください。
[応募締切] 2018年9月1日(土) 必着



**自分史センターで読める!
15冊の「作品集」**
2001年から発行している掌編自分史作品
集。文化フォーラム春日井2階・日本自分史
センターでお読みいただけるほか、文化情
報プラザで販売もしています。たくさんの人
生が詰まった一冊。ぜひお手に取ってみ
てください。



**無料 市制75周年記念
第67回春日井市民美術展覧会**

5つの部門で、市民のみならず寄せら
れた作品を展示する市民美術展。会期
中には審査員によるギャラリートークも開
催します。
※詳しくはHPをご覧ください。
8/25(土)~9/2(日)
9:00~16:30(初日のみ10:00開場、最
終日は16:00まで)
[会場]日本画:春日井市役所12階/
洋画・写真:春日井市役所11階/書:
春日井市役所10階/彫塑工芸:文化
フォーラム春日井・視聴覚ホール/審査
会員参考作品:文化フォーラム春日井・
ギャラリー



**無料 昼コン&夜コン
下半期ラインナップ**

大好評のロビーコンサート。11/16(金)は
井草聖二さんが登場!
昼コン 14:00~
9/15(土)「歌で楽しむブラジリアン・ジャ
ズの世界」/**10/27(土)**「時代を追っ
て愉しむ華麗なる響き」/**11/10(土)**
「秋色のメロディ」
夜コン 19:00~
9/28(金)「とっておきのクラシカル・サク
ソフォン」/**10/12(金)**「心癒される、至
福のアコースティック」/**11/16(金)**
「ギター1本で広がる世界」
@文化フォーラム春日井・交流アトリウム
※詳しくはHPをご覧ください。



OKB大垣共立銀行presents
春日井まつり前夜祭 山崎まさよし
~Yamazaki Masayoshi String Quartet "BANQUET"~

毎年、人気歌手によるコンサートを開催し
ている春日井まつり前夜祭。
今年はデビュー曲「One more time,
One more chance」や、SMAPによるカ
バーでも有名な「セロリ」など、誰もが聴き
馴染みのあるヒット曲の数々で知られるシ
ンガーソングライター・山崎まさよしが登場
します。
2014年に歌手デビュー20周年を迎え、ま
すます精力的に活動を続ける山崎さん。あ
たかな歌声に弦楽四重奏が折り重なる、
特別編成での演奏は必聴です。
10/19(金) 18:30~
@春日井市民会館

チケット購入方法

WEB

かすがい市民文化財団ホームページ内
「オンラインチケットの予約・購入」から予約

文化はかすがい

●Web会員登録(無料)が必要、PiPi会員は会員IDとパスワードでログイン
●チケット引取は から選べます。



TEL

電話で予約

●一般の方 (9:00~21:30、チケット一般発売初日は10:00~)
☎0568-85-6868

●PiPi会員 (PiPi先行予約期間中の9:00~17:00)
☎0568-85-6078

●チケット引取は から選べます。

窓口

窓口で直接購入

●文化フォーラム春日井2階・文化情報プラザ
(休館日を除く9:00~18:00)

●春日井市東部市民センター窓口
(年末年始を除く9:00~12:00、13:00~17:00)

ぴあ

チケットぴあで予約・購入

●電話予約 / ☎0570-02-9999
●直接購入 / チケットぴあ窓口もしくは端末にて

※公演ごとのPコードをご確認ください。
※PiPi会員割引はご利用いただけません。

etc

その他プレイガイド

※ローソンチケット、セブンチケット、ファミポート、名鉄ホールチケットセンターなど、各プレイガイドで販売する公演もございます。販売対象は各公演情報をご確認ください。

窓口購入以外のチケット引取方法

セブン-イレブン

お近くのセブン-イレブン店頭で引取

※チケット代金に加え、決済手数料(1件につき¥162)と
発券手数料(チケット1枚につき¥108)が別途必要

代引

郵便局「代金引換サービス」でご自宅に郵送

※チケット代金に加え、代金引換手数料(¥500)が別途必要

※掲載価格はすべて税込です。※一般発売初日は、電話・Webからの予約・購入は10:00からとなります。電話のおかけ間違いにご注意ください。※車いす席をご希望の方は窓口または電話でお問い合わせください。※支払・引取方法によって各種手数料がかかります。※予約済・購入済チケットのキャンセル・払い戻しはできません。※前売り完売の場合、当日券の販売はありません。

青少年鑑賞サポートプログラム

- 対象者は優待価格¥500でチケットをご購入いただけます。
- 受付は各公演の一般発売日10:00より。詳しくは財団HPへ。

友の会PiPiに入会すると、こんなにお得!!

チケット先行申込 / 割引価格 / 最新情報を郵送 / etc

レギュラー会員 **¥2,000** / ゴールド会員 **¥3,000**

ご入会・更新は財団HP「友の会PiPi」からどうぞ。24時間受付中!



文化フォーラム春日井 / 春日井市民会館
www.kasugai-bunka.jp Follow us @kasugai_bunka
486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5-44
【休館日】月曜日(祝休日の場合は翌平日)、12/29~1/3



交通のご案内

JR中央線「春日井駅」北口より
・名鉄バス「鳥居松」下車すぐ
・徒歩20分
・無料レンタサイクル5分(日・祝休み)

かすがいシティバスでお越しの方
・「市役所」下車すぐ

※駐車場は混雑が予想されます。なるべく公共交通機関や乗合せをご利用ください。

発売中



**第88回かすがい芸術劇場
人形劇団むすび座「父と暮せば」**

8/10(金) 14:00~ 19:00~ @文化フォーラム春日井・視聴覚ホール [料金] ●¥2,300 ●PiPi会員は¥300引き、小5~高¥500 (WEBから要予約) ●全自由席、当日券同額、整理番号順入場、小学4年生以下入場不可

青少年鑑賞サポートプログラム

**チケット
取り寄せ中**



◎上杉暁

**花形狂言2018
真夏の狂言大作戦!**

8/19(日) 15:00~ @春日井市東部市民センター [料金] ●¥3,500 ●PiPi会員は¥300引き、小中高生¥500 (WEBから要申込) ●全席指定、当日券同額、未就学児入場不可

青少年鑑賞サポートプログラム

発売中



◎三枝近志

**日生劇場ファミリーフェスティバル2018
物語りクラシックコンサート
アラジンと魔法のランプ**

8/25(金) 11:00~ 15:00~ @春日井市民会館 [料金] ●一般¥3,000、こども(中学生以下)¥1,500 ●PiPi会員は¥200引き ●全席指定、当日券同額

ローソン(コード41968)

発売中



◎2017映画「ゆらり」制作委員会

**第69回かすがい日曜シネマ
「ゆらり」**

9/16(日) 10:15~ 13:45~ 16:45~ @文化フォーラム春日井・視聴覚ホール [料金] ●¥800 (当日券¥1,000) ●PiPi会員¥700 (当日券同額) ●全自由席、上映時間指定、未就学児入場不可 ※2の回はシン・ボイスガイドあり。ご予約の際にお申し出ください。

発売中



**第3回ワンコインコンサート
「Lune」**

9/22(土) 13:30~ @文化フォーラム春日井・視聴覚ホール [料金] ●¥500 (PiPi会員同額) ●全自由席、当日券同額、未就学児入場不可 ※当日券は、12:30より会場入口にて販売いたします。

発売中



**南野陽子&葛西聖司
伝統芸能の魅力発見!**
~につばんの楽器・弾き物編~

9/29(金) 15:00~ @春日井市民会館 [料金] ●¥4,000 ●PiPi会員は¥500引き、小中高生¥500 (WEBから要申込) ●全席指定、当日券同額、未就学児入場不可

青少年鑑賞サポートプログラム

8月発売



◎山田雅子

●PiPi会員先行予約 8/4(土)~8/7(日) ●Web先行予約 8/8(月) 10:00~8/10(水)17:00 ●一般発売 8/11(木)起~

柳家小三治独演会

10/13(土) 14:00~ @春日井市民会館 [料金] ●5席¥4,500、A席¥3,000 ●PiPi会員は¥300引き、小中高生¥500 (WEBから要申込) ●全席指定、当日券同額、未就学児入場不可

青少年鑑賞サポートプログラム

8月発売



●PiPi会員先行予約 8/18(土)~8/22(日) ●Web先行予約 8/23(月)10:00~8/25(水)17:00 ●一般発売 8/26(木)起~

OKB大垣独立銀行 presents
**春日井まつり前夜祭
山崎まさよし**
~Yamazaki Masayoshi String Quartet「BANQUET」~

10/19(金) 18:30~ @春日井市民会館 [料金] ●¥7,500 ●PiPi会員は¥300引き ●全席指定、当日券同額、小学生以上有料

9月発売



●PiPi会員先行予約 9/1(土)~9/4(日)
●Web先行予約 9/5(月)10:00~9/7(水)17:00
●一般発売 9/8(木)起~

こまつ座「母と暮せば」

12/1(土) 14:00~ @春日井市東部市民センター [料金] ●¥5,000 ●PiPi会員は¥300引き、小中高生¥500 (WEBから要申込) ●全席指定、当日券同額、未就学児入場不可